

「物価高騰」に負けないために



2022年12月消費者物価指数(前年比)

最低賃金
1,500円以上を!



長期化するコロナ禍に加え41年ぶりの「物価高騰」が私たちの暮らしを直撃。コロナ禍でも賃上げがすすむ欧米や韓国と、賃金が下がり続けている日本との違いは、ストライキを含むダイナミックなたたかいと、署名などによる世論づくり。最低賃金と生計費(「普通に暮らす」に必要なお金)の大きな差が、暮らしを破壊しています。物価高騰の今こそ全国一律、最賃1,500円以上の実現はまったなしです。

最低賃金引き上げの署名(裏面)にご協力ください。

FAXで送っていただいても結構です。



京都総評

(京都地方労働組合総評議会)

京都市中京区壬生仙念町30-2
ラポール京都5階

TEL ● 075-801-2308

FAX ● 075-812-4149

E-mail ● sohyo@labor.or.jp

Web署名も実施中!



京都総評 YouTube

20代

京都で「普通に」一人暮らしをするには

月 24万円 時給 1,600円 以上必要



お昼には500円のコンビニ弁当。

「リアル」な現実

京都の最賃968円
1日8時間、月22日

170,368円!

7.5万円足りない!!

ぜいたくしなくても、これだけ必要!

「普通の暮らし」にはお金が足りないから、みんなが何かをガマンしている。しかし、7割の人がしていること・持っているものは、ガマンしないでいいなら「したい」「ほしい」。そんな、けっしてゼイタクでない、どちらかといえば質素な「あるべき」普通の暮らしに必要な金額を積み上げました。

京都総評2019年最低生計費試算調査より

あるべき「普通の暮らし」にかかる額

生計費結果	20代単身世帯/男性
居住面積(賃貸)	25㎡
A 消費支出(1~10)	178,390
1 食費	44,441
2 住居費	41,667
3 光熱・水道	7,419
4 家具・家事用品	3,836
5 被服・履物	5,921
6 保健医療	1,137
7 交通・通信	18,612
8 教育	0
9 教養娯楽	27,510
10 その他	27,847
B 非消費支出	49,595
C 予備費	17,800
最低生計費(税抜き) A+C	196,190
D 同上(税込み) A+B+C	245,785
同上(税込み) D×12	2,949,420

駅から自転車です15分の古い1Kマンション。本当はオートロックの部屋に住みたいなあ...

仕事に着ていくスーツは18,800円で2着。4年間着るので1カ月あたり783円。

カットやパーマは3カ月に1回。1回8,000円だから、月に2,667円。

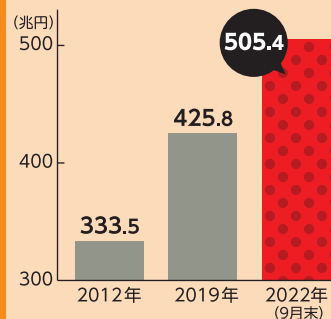
たまには友だちとショッピングしたり、デートもしたいよね(月8,000円計上)。

自転車は10,800円のを2年乗る。月に450円。車なんて、とてもとても...

大企業の「内部留保」の還元で最賃UP、中小企業の支援を!

大企業の内部留保は2022年9月時点で505.4兆円と、この10年で1.5倍に。一方で、下がり続ける実質賃金。今こそ賃上げや社会保障のために、大企業の内部留保を還元すべきです。

増える大企業の内部留保



(グラフ: 資本金10億円以上の大企業。財務省資料から)

「賃上げ必要」(岸田首相)と言うのなら政治の責任で賃上げの環境整備を行え!

「持続的に賃金上がる『構造』を作り上げる」「物価上昇を超える賃上げが必要」(第211回通常国会・岸田首相の所信表明演説)と言うのなら、大企業の横暴規制と中小企業支援を、政府の責任で行うことが不可欠です。